

特定非営利活動法人イマジン

〒427-0022 静岡県島田市本通二丁目4-20 Tel 0547-34-3370 Fax 0547-34-3371



イマジン通信

Vol.56



10年が経ち・・・

理事長 澤島直通

平成15年にイマジンを設立してから10年が経ちました。

島田市扇町の事務所から始まったイマジンも、現在では本通二丁目に事務所を移し、居宅介護や行動援護、移動支援を提供するヘルパー事業所として、また、本年1月より放課後等デイサービス「この指とまれ」の事業所としてサービスを提供させていただいています。初倉地区では3つの雨やどりがグループホーム・ケアホームとして32名の入居者の家として生活を支え、同時にショートステイを実施することで在宅生活者の一時的な住まいとして1日7名の方にサービスを提供させていただいています。

前号でもお知らせしましたが、認定されれば5月より生活介護事業を始めたいと考えています。通所の事業は設立当初から要望はありました。当時は、小規模授産所と通所更生施設しか無く、現在のように多くの施設から自分の通い先を選択することは考えられませんでした。ましてや他の市町の施設に通うなんて不可能な制度でした。現在でも大多数の方が同様な考えを持っています。支援費制度から10年経った現在でも正しい理解がされていないのは、この志太榛原圏域の通所施設は根本的な部分が10年前と同じ状態なんだとも言えると思います。その影響で、各通所施設の職員にも同様な考え方や雰囲気が残っているか、逆に制度理解を自己都合ともいえるような解釈で利用者に接している通所施設もあります。小規模授産所が就労継続B型施設になり、『障害者の通う場』『将来を心配して賃金を獲得する場』だったのが、『職場もどき』となり施設が請け負った仕事に見合った作業能力のある方のみが通うことを許される場所になってしまいました。そもそも、障害者が通っているのですから障害への対応は必須のはずですが作業に重きを置かれてしまっているのが現実です。

イマジンが、ヘルパー事業で支援をさせていただいている方の中にも、ケアホームの入居者の中にも通所先とのミスマッチの相談が絶えず続いていました。就労移行施設、就労継続A型施設、B型施設だけでなく、生活介護施設も同様です。通う場所が無くなってしまうと途端にご家族へ負担が押し掛かってきます。ケアホームの入居者は、私たちが探していかななくてはなりません。通うことができる範囲には様々な理由から通える施設がありません。既に、通い先を無くしてしまった方のため、また、今後無くしてしまった方が出た場合のために生活介護事業を実施します。活動内容は、通所される方に合わせた支援をしていきます。大まかな流れは作りますが、集団としての活動と本人に合わせた活動とを組み合わせていきます。通所が始まってから様子を見させていただき、活動内容を決めていくケースも多いと思います。「何をしてくれるんですか?」と聞かれるとドキッとしますが「どんなことをして過ごしたいんですか?」と伺わせてもらっています。いっしょに作っていきましょう。

今年度は、生活介護事業の実施から次の事業所の設置を中心に活動しながら、現在実施している各事業の充実を図っていきます。毎回出ますが、事業所の組織化とスタッフのレベルアップが必ず良い結果を残してくれます。法人の強化は連動していきますので自然と良くなっていくはずですが、土地の購入やケアホームの建設が進めば、後半は、ケアホームを中心に事業が動き出すでしょう。

今年度は、多くのスタッフが入社してきました。これから起こる事態に備えるべく、新たな仲間を加え、新年度が始まりました。早くも新入社員たちが先輩たちに混ざって「A君には・・・」と話をしている姿を見て、イマジンの人に自然となる土壌の片りんを垣間見た気がして、笑みがこぼれます。満足できることは少なく、次々と起こる事態に全スタッフ丸となって対応していくこととなるでしょう。たくさんのご指導をいただきたいと思います。少なからずもご迷惑をおかけすると思いますが、今年度も皆さんとともに歩んでいけたらと、10年を振り返りつつ決意を新たにしています。

5月25日(土)に本年度の総会の場で、改めてお話をさせていただきたいと思っています。是非、ご都合をつけてお足運びいただけたらと思います。イマジンの名の由来通りに『想像力=これから何が起きるのか考える力』を使ってお互いのこれからの10年の歩みを考えていきましょう。



扇町のイマジン。ここから始まりました。



設立説明会で話す理事長



【現在のイマジンたち】



つつい雨やどりの生活 ⑳

つつい雨やどりを筆頭に、全ての雨やどりで担当制が行われています。その中でもつつい雨やどりは、特に元気な入居者が多く（笑）特徴的な行動がある入居者がたくさん生活しています。もう一つの特徴としては、若い入居者が多いのも、他の雨やどりと違うところです。

この『特徴的な行動』は、時として集団生活に影響を及ぼす場合があります。そんな時に、この担当制が働き始めます。日替わりのシフトで世話人は支援に入ります。その世話人業務の中で見つけたこと、気づいたことを担当に集めます。担当は、サービス管理責任者に報告をしながら対策を練ります。日々の世話人も、サービス管理責任者に報告をして業務を終えているので、サービス管理責任者にはたくさんの情報が集まってきます。「なぜ、トイレに何回も行くのかなぁ」「夜、入眠時間が遅くなってきたなぁ」「大きな声を出している日が続くなぁ」など一人ひとりの『何で・・・』の中から優先順位をつけて対応していきます。優先順位は、サービス管理責任者を中心としたアドバイザーたちにより、情緒面・健康面など、崩れや大きな害が発生してしまいそうなことから選択されていきます。テーマが選択されると日々の世話人たちに伝えられ、本人の特徴的な行動や原因を探るべく、仮定ポイントの頻度を取りはじめます。例えば、トイレに行く回数の多いB君。トイレに行った時刻や時間の長さ、トイレで何をしているか？また、トイレに繰り返し行く時の場面の様子。騒がしいとか、女性の世話人がいるとか、ショートステイで児童の方がいたとか・・・世話人は誰だったとか（笑）細かく状況を分析していきます。



人の行動には、必ず原因があります。その原因を見つけ出し、環境に問題があれば改善する。対応に問題があれば、対応を変えていきます。環境の中でも『人』は、とても大きな存在です。ほとんど『環境＝人』と言ってもいいと言えます。それでも不具合があり、問題点が本人の内面に辿り着く場合は、勇気をもって精神科や心療内科に受診をさせていただき、医療の支援、つまりお薬をいただいて対応していきます。お薬は飲まないほうが気持ち的にはいいと感じますが、副作用等を正確に把握して服用すれば、何も怖がることも無く、何より本人が苦しまずに済みます。私たちも、風邪薬や胃薬を飲みます。医療の支援は、適切に受けていれば大丈夫。もちろん、「飲んでるから大丈夫」ではなく、服用した後どのようなようになったのか？と、今まで以上に注意して見ていくことが肝心です。つつい雨やどりで、このように一人ひとりの生活・行動を見させていただきながら世話人が関わらせていただいています。

担当は、原因探しだけでなく、そんな本人を見つけて気づく中から毎月のヘルパー利用予定や通院の予定、床屋の予定など、生活を営むのに必要なことを段取りしていきます。外出が決まれば、必要なお金や本人との確認・声掛け、決して偏ってしまわないように、入居者全員が同じように関わってもらえるように・・・いえ、関わらせていただいているのは世話人でした。入居者が付き合ってくれている場面の方が多いですね（笑）

一度はチャレンジをしましたが失敗してしまった担当制が、5年経った今のつつい雨やどりで機能し始めています。入居者の成長と世話人の努力がいい感じで組み合わせさせてきているようです。抱え込みや担当以外への無関心が無いように失敗を活かして新たな展開が生まれてきています。すぐに成果が出るものばかりではないのは当たり前です。じっくりと経過を観察させていただきながら、時にはヘルパーの協力を得ながら、また、通所先の理解と協力を得ながら進んでいきます。

悩むのは苦しいですが、入居者が元気で穏やかに過ごし、笑顔で起きてくる姿を見ると唯それだけが印象として頭に残り、自然と私たちも笑顔になります。世話人の間でも「今日、C君がね♪」と悩みがネタになり（笑）

本当に入居者のお陰で楽しく支援をさせていただいています。みんな、ありがとうね♪（担当 二宮）



イマジンの車事情

最近「よく、走ってるね」とたくさんの方から言われます。ケアホームが増えていき、イマジンのマークを付けた車が入居者の送迎で走っています。また、放課後等デイサービスの車も藤枝・焼津方面と榛原・吉田方面を子供たちの送迎で走っています。現在、イマジンの車は全部で10台です。5月から通所施設の『風のこえ』が始まると送迎車がまた増えていくと思います。

点検やオイルなどの交換、車検の手配をするのが自分の仕事なのですが、最近ではドライバーが多くなったからか、気づかないうちに壊れた箇所やぶつけた傷などが見つかることもあり修理もほどほどあります。送迎などの利用者に何も無いこと、事故等を起こしていないことが何よりですが、やはり気持ちのいいものではありません。

職員への呼びかけもなかなかできずに反省しますが、車が安全に業務に使用できるように最善の注意を払っています。

一番困っているのは、「乗ったらガソリンが無い」と言われることが多く、空き時間を見つけては職員間で声を掛け合ってガソリンを入れに行っています。見かけたら声をかけてくださいね（笑）（担当 宮浦）





春になり、子どもたちも元気です

「この指とまれ」の初めての春休み。あっという間に過ぎていった3週間でした。

子ども達の中には芸術家がたくさんいます。ブロックを上手に組み合わせ、カッコいいロボットを何体も作る高校生のA君や、ブロックで乗り物を作り、その上にぬいぐるみを乗せて動物列車を作る小学生のB君。そんなB君を見て、今までは他の子に近づいて行く事が少なかったCちゃんがある日、B君の側に行き同じようにぬいぐるみを持ちながら走ったり踊ったりしているのです。Cちゃんがぬいぐるみを持っている姿も余り見た事がなかったので、新しい事に興味を持ったんだなぁと思い嬉しくなりました。B君が来ているとわかるとCちゃんはすぐに側に行き、興味深々にB君の事を見てニコニコしながら踊ります。そんな2人の姿を見て癒されている私達支援員ですが、B君に負けてはいられません！Cちゃんに興味を持ってもらえるような支援員になる様、日々頑張らなければ！と感じた春休みでした。そんな中、子どもたちの一番近くでさりげなく支援をしているのが“お兄ちゃん”こと今泉真実くんです。突然走り出すD君にサッと立ち上がり、さりげなく止めてくれたり、じゃれ合ってくるEちゃんをさりげなくいなしたり、危険な場所に行ってしまうようなFちゃんをさりげなくクルッと向きを変えてくれたり、と“さりげなく”支援をしてくれます。本人の口癖は「わからない」ですが、よく分かってくれています。

新学期が始まり、いつもの放課後の支援が始まりました。進級した子も、進学してちょっと大人びた子も変わらぬ笑顔で通ってきてくれます。新しいお友達も増えて春がスタートしています。私たちが楽しんでいるうちに、また、あっという間に夏休みになってしまいそうです（笑）（担当 油井）



そろそろ雨やどりの様子

1月に入居された方たちも、もう4ヶ月が経ちます。「テレビが欲しい」「嵐のファンクラブに入ってコンサートに行きたい！」「もっとぐっすり眠りたい…」など、一人ひとりが、自分の夢や悩みを少しずつ話してくれるようになりました。

独居生活から入居してきたSさんは、始めは新しい生活への不安や疑問など、いつも暗い表情でいつも暗い話。Sさんの特徴として「思ったことは何でも口にしてしまう」ので、周りの入居者からも「あの人が嫌！」「あの人とご飯を食べると間に連れて行かれる」と訴えが出てしまいました。周りの入居者のことを考えて、一部の人は食事の時間をずらしています。段々とSさんの周りから人がいなくなる。Sさんは独りであることが多くなる。「ああ、こうやって独りになってしまい、ますます周りへの気配りをしなくていい生活から気配り自体ができなくなるんだなぁ」とSさんの今までのような気がしました。そんなSさん、慣れてきて不安や緊張が無くなってきたのか、最近では表情が明るくなり、話の内容も観ているテレビの話題や車の話題など、以前では見られなかった「世間話」をする姿を目にするようになりました。また、なかなか言いたい事が伝わらない時でも、体を大きく使って身振り手振りで説明してくれます。そのときの表情はとても生き生きとしています。最近はそろそろの世話人やヘルパーたちにも興味が出てきた様子で、そろそろの生活の中でSさんの世界が広がっていくことが実感できてとても嬉しいです。近いうちに、入居者のみんなとも楽しく食べられるようになるといいね◎（担当 古木）



今月の世話人のつぶやき（いよいよ雨やどり）

ある日「足が痛い」と訴えてきたA君。状態を聞き、通院を促し、予定を入れます。あくる日「もう痛くない」との訴えがあり、通院は見送り。そんなことを何回と繰り返して半年ほどが経ちました。同じように「足が痛い」と訴えてくるA君に「今回は必ず行こう！」と心配する一心で病院に行くことにします。今までの状況から、まずは整体に行き、身体のゆがみを取ってもらいます。「楽になった♪」と大喜びです。しかし、1週間もすると「やっぱり痛い」とA君。今度は整形外科に受診をします。レントゲンを撮り、MRIを撮ります。すると、足の軟骨が破損していたことが分かりました。ドクターからは「これは痛かったらうね」と言われてしまいました。平然としているのはA君。「何だって？」と聞いてきます。

私たちは世話人として生活を見させていただいています。しかし、本人の確認をしながらでも、本人と話をしながらでも、この結果です。大事を見て受診を強く勧めていれば・・・本人から断られても受診をしていけば・・・と後悔だけが残ります。ふと「取り越し苦労でも、何もなければ一番いい。そんな苦労ならいい苦労だ！」と日頃、理事長より言われている言葉が思い出され、再びショックを受けます。ごめんなさい、A君。

いよいよ雨やどりには、自分から表現できない人、訴えられない人もいます。A君のように言葉で確認しても“本当”まで辿り着かないこともたくさんあります。本人に成り代わることは難しいけれど、精一杯、気づいていけるように頑張ります。（担当 松永）

🐝 平成25年度 正会員の募集を始めます！

日ごろからイマジンの活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。NPO法人にとって正会員は必要不可欠な存在です。本当にありがとうございます。

平成25年度の正会員の募集を始めています。年会費の受付は常時行なっています。新規の会員も継続の会員も大歓迎です。年会費はイマジンまでお持ちになっても、下記口座まで振り込まれても結構です。また、イマジンのサービスを利用されている方は引き落としも可能ですのでお申し付けください。イマジンの活動に引き続きご協力・ご支援をお願い致します。

☆石田一志	☆石本 強	☆稲葉みどり	☆小栗正巳	☆加藤富夫	☆加藤旬美	☆加藤泰雄
☆亀井博子	☆亀井由季子	☆小長谷一夫	☆近藤光一	☆佐藤 博	☆佐藤尚野	☆澤島直通
☆戸塚和重	☆永井孝次郎	☆西尾久代	☆二宮温子	☆秦 美智子	☆平口政秋	☆二見孝秋
☆増田俊彦	☆松下勝廣	☆村田芳生	☆森下郁乃	☆八木哲仁	☆山村 勝	☆山村勝一
☆横山勇治						


【年会費】正会員 5,000円 ・賛助会員(個人) 1,000円 ・賛助会員(団体) 20,000円

【振込先】 静岡銀行 島田支店 普通 0606771
 特定非営利活動法人イマジン 理事長 澤島直通

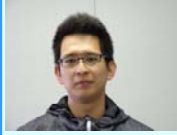
◆ 平成25年度の正会員募集中です。ご協力お願いします。




新しい仲間の紹介です




◆ 増田恭子
ヘルパー
毎日、目から鱗が落ちるような経験ばかりさせていただいています。明るい笑顔をお忘れずに皆さんに関わらせていただきたいと思います。よろしくお願いします。




◆ 稲葉大輔
ヘルパー
いよいよ雨やどり世話人
初めてのことが多く、ご迷惑をおかけするかと思いますが、当事者に寄り添った支援が出来るように頑張ります。よろしくお願いします。




◆ 玉木泰子
風のこえ支援スタッフ
看護師
この世界は初めてで年ばかり重ねていますが新人ですのでご指導の程、よろしくお願ひします。利用者様のお役に立てる様、頑張りたいと思います。




◆ 齋藤祐輝
この指とまれ支援スタッフ
ヘルパー
右も左も分かりませんが、日々子ども達の成長や変化に気づける職員を目指しています。よろしくお願いします。



◆ 岡本欣展
風のこえ支援スタッフ
そろそろ雨やどり世話人
趣味は料理と釣りで。皆さんと一緒に「明るく」「楽しく」「仲良く」活動していきたいと思ひます。よろしくお願いします。



◆ 水野郁子
風のこえ支援スタッフ
ヘルパー
私自身が初めての経験です。皆さんにいろいろと教えていただきながら、頑張っていきたいと思ひます。よろしくお願いします。



◆ 海野知子
ヘルパー
つつい雨やどり世話人
利用者の皆さんに喜んでいただける支援ができますよう頑張っていきたいと思ひます。よろ

たくさん仲間が増えました。
顔を覚えてくださいね♪
よろしくお願いします！



【連絡先】 特定非営利活動法人 イマジン

障害者支援センターイマジン
〒427-0022 静岡県島田市本通二丁目4-20
TEL 0547-34-3370 FAX 0547-34-3371
e-mail imagine@za.tnc.ne.jp
http://www3.tokai.or.jp/imagine/

初倉事務所 (つつい雨やどり隣)
〒427-0113 静岡県島田市湯田1-1
TEL / FAX 0547-30-4117
e-mail npo-imagine@cy.tnc.ne.jp

